

Froide

vol. 17-17 2024. 3. 6 wed

3/13(水) 18:30 電極の説明会
2会会い

3/20(祝・水) 13:15~

大淀コミュニティセンター

練習会 こんな風にいわゆる

3月20日の練習後、希望者での懇親会を開催します。

2/21,28での「懇親会アンケート」回答、ありがとうございました。

2/28時点で、●提出 39 ●懇親会に参加したい 31 ●不参加または開催反対 8

参加希望 31 のうち、3/20 開催について、具体的には以下の通り。

- 現時点で参加予定 25 ●仕事等調整できれば 3 ●当日は別件予定あり 3
(25名のうち、11名が 2020~24 の新人&復帰の団員)

大阪フロイデでは「飲食を伴ってみんなで集まる」ことを例年 2種類行ってきました。

一つは本番後の打上パーティ、これは懇親会ではなく、指揮者・ソリストの先生方にも参加していただき、本番の演奏の講評、振り返り、各自が演奏で学んだことを改めて大切にしあう、という意味を持つものです。

もう一つは、「新人歓迎懇親会」これは、新入団募集が一段落したあたりでの文字通り懇親会。うまく歌っているように見える先輩方の入団時の失敗談で笑ったり、緊張している新入団の方の楽しい素顔を知ったり。

打上は打上で、演奏会を振り返るステキな時間ですが、新人歓迎会は、まだ団の雰囲気に慣れてなくて、こんご続けようか、或いは、今回の演奏会までは頑張るけどそのあとは決めていない、という新人の方が、諸先輩のオモロサを発見して、ちょっとここに居てみようか、と思ってもらえる、これも大きな意味を持ちます。この新歓が 2020、2021、2022、2023、と開催できなかったことは、新人の方の団員定着の意味で、ザンネン、なことでした。

もちろん 2019 年開催以降、コロナ禍で全く行ってこなかった「飲食を伴ってみんなで集まる」こと、への心配はゼロではありません。現在、5 類になり、会社等での対面での懇親会も徐々に行われている話も聞くようになったとはいえ、最近もコロナ第 10 波 & インフルの猛威等、報道されていましたよね。

今回「不参加」と書いた方には、ご自身が「まだ心配」という以外に「開催すべきではない」として、「タミフルのようなものができないうちは開催すべきではない」「高齢者の感染を間近で見ている、開催すべきではない」「懇親会はしなくとも、打上パーティでよいのでは？」、と、開催自体に警告を出してくださるものも見られました。

これらの状況の中で、非常に悩みましたが、いろんなことを考慮したうえで、開催しようと思います。

①新人・復帰さんからの希望が多い。→参加希望の中で、特に多かったのが 2020 年~2024 年の新入団 & 復帰のみなさん。「パートの限られた人としか話す機会が無い、こういう場が欲しかった」というお声。

②参加希望者も感染防止意識を持って参加したいと書いている→コメントで「鍋や大皿などはやめる等、充分気をつけて、参加者も自覚をもって行うことで、懇親会はしたい」といったことを書いてくださる方複数。

③この時期の「水曜・祝日」のチャンス。→団の台所事情により、練習前半では「日曜練習」を設けていない。懇親会は「練習とは別日の設定」では集まりにくいので、日曜等の昼間の練習のあと開催していた。

今回たまたま 3/20 (祝) が水曜。(ちなみに次のチャンスは、2028/2/23 天皇誕生日が水曜日)

④希望者が、自身の体調も確認したうえで参加する。→コロナ前は「団の行事」として、できるだけ多くの参加を呼び掛けていましたが、今回、そういうことは行いません。希望する方が、ご自身の体調管理の責任をもって、参加する、としたいと思います。

懇親会の様子は、後日ニュースで簡単に報告し、不参加の方にも、話題を共有していただけるよう考えます。

というわけで、3/20 練習後、大淀コミュニティセンター近辺で、懇親会行います。参加人数は、再度確認しますので、参加希望者、また、いったん不参加にしたけど参加したくなった方等、予定しておいてください。

2/28 練習+モード

譜読み おわりました～～～！



といふかくまづ楽譜をさうまで自詮あらう！とうこころ
全曲ともう「言ひて」とコト、これから（今は音符がちゆつひとと
音楽にしつれてたぬ）や、本季の「練習」に入つてお!! 音符を飛ばし死んで
アタク。これから 音楽を感じてうたういにう、とに ごまよひけ 指揮を見はなし
いにうきよす。アタクへ入れていそまよー!! ちばみた「譜読みは自分でできる」
といふ人には 今から 入園ひも大丈夫だよー!! そりあいに 声を出せよー!!

• Credo → 女声. p.52. [26]・[28] 小節目の「tr」記号はナシ。

• Agnus Dei.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:
牛乳の「ミ」 8U. 3音 } i=④音 } のもい ka

miserere nobis, Dona nobis pacem

→ かほくじい
※ 小さい音(ハラハラ) 79 [82]
{ ハラハラ } テレーレ Pa - - cem Pa --- cem

— Agnus Dei 「パウケン大活躍！」 —

パウケン・ミサは、ハイドン後期 6 大ミサの最初の方（1796 年「パウケン・ミサ」「ハイリッヒ・ミサ」、1798 年「ネルソン・ミサ」、1799 年「テレジア・ミサ」、1801 年「天地創造ミサ」、1802 年「ハルモニ・ミサ」。）大阪フロイデがこれまで演奏してきたネルソン、テレジア、天地創造ミサ、よりも前に作曲されたもの。

「パウケン・ミサ」の「パウケン (Pauken) はドイツ語でティンパニのこと。

Agnus Dei の楽譜のピアノ (=オーケストラ) のところをよく見てください。例えば 10 小節目、「Timp」の文字、わかりますか？この「ドコドコドン！ドコドコドン！～」はまさにティンパニです。その先も、アチコチ「Timp」の文字、探せましたか？この Agnus Dei でのティンパニの大活躍が、パウケン・ミサの呼称につながりました。

また、この曲は「戦時のミサ」という名前で知っている方も多いと思います。それは、作曲当時オーストリア南東部に対するナポレオン軍の侵攻により、ウィーンも脅威にさらされていた時代背景から、当時作曲されたもの、として呼ばれるようになりました。

ミサ曲の Agnus Dei は、後半の Dona nobis pacem でテンポアップして快活に演奏されるものも多いですが、特にこのパウケン・ミサは、ティンパニが元気よく鳴りひびきます。その空気を充分に感じながら、高らかに全力で「Dona nobis pacem」を繰り返しましょう！